

科目名	環境科学概論	教員名	はちや かずひこ 八谷 和彦	開講 コース	作物生産 花 園 芸	1年次	前 期
<p>・目的と内容</p> <p>環境科学とは「人類を含め全ての生物の幸福のために、豊かな社会のあり方を考え、そのような社会を作り、持続させ、保証するための学問」と定義されている。従って、環境科学は、自然科学分野に属する地球環境科学、生態学、農学、公害問題、健康障害問題などだけでなく、社会科学やその他の学問分野にも関連する。</p> <p>その中で、本講義では、農業の生産活動とも密接に結びついている地球規模の環境問題と、生態系に焦点を絞り、その実態と問題を学ぶことによって、環境と調和した持続的な農業生産のあり方を考えるための基礎とする。</p>							
<p>・授業計画 [単位数：2 単位、授業週数：15 回]</p> <p>[前期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 . 環境とは何か、環境科学とは何か 2 . 環境と生物、農業生態系 3 . 環境問題をめぐる世界の動き 4 . 酸性雨と森林減少の諸原因 5 . 水資源と地下水の枯渇 6 . 砂漠化と農耕地の喪失 7 . 限りある化石資源 8 . 温室効果ガス排出、オゾン層破壊 9 . 押し迫る地球規模の温暖化 10 . 世界的な異常気象と農業生産 11 . 生物の絶滅と生態系崩壊 12 . 農業の食料供給と人口増加 13 . 人工化学物質と農業環境 14 . 環境との調和を目指して 15 . 全体総括、期末試験 							
<p>・講義の進め方</p> <p>毎回配布するプリントをベースに講義を進める。関連する DVD などを使い、環境問題が身近な重要問題であることが認識されるよう努めたい。</p>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>期末に記述式筆記試験を課す。これに出席日数、受講態度などを加味して成績評価する。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>知識を一杯詰め込んでも、それを活用しないのではあまり意味がない。知識を知恵として生かせるよう、常に考える姿勢を持って講義に臨んで欲しい。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>教科書：毎回プリントを配布する。 参考書：特に指定しないが、環境に関しては多数の本が出版されており、図書館にも多数収蔵されている（分類番号 519 の書架など）ので、参考にすること。</p>							